

授業科目	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ					実務家教員担当科目	○				
単位	2.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	今村 浩司										
授業概要	<p>本講義では、精神の構造と働き、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健活動と精神保健対策治療的アプローチ、法律などについて解説する。その際、精神保健の全体像をパワーポイント、ビデオなどを用いて説明する。受動的講義だけでなく、精神保健福祉領域での相談援助や活動経験を有する実務家教員が、可能な限り具体的な事例等を提供していき、グループ・ワークによる演習・成果発表など積極的授業参加も組み込み、より学生の理解を深めるよう工夫する。</p> <p>なお、授業の運営方法については、基本的には対面講義であるが、状況に応じてウェブ等を使用している講義になる場合もある。</p>										
授業形態	講義					授業方法					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の構造と働きおよび、ライフサイクルにおける精神保健について理解し、内容を説明できる。 2. それぞれの生活の場における精神保健と病理について理解し、内容を説明できる。 3. 精神保健に関わる健康障害、精神保健活動と精神保健対策について理解し、内容を説明できる。 4. 精神保健のアセスメント方法と治療的アプローチについて理解し、内容を説明できる。 5. 精神保健及び福祉に関する法律について理解し、内容を説明できる。 <p>1. 2. 3. 4. 5. のいずれの項目も一定のレベルで達成できている。</p>										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の構造と働きおよび、ライフサイクルにおける精神保健について理解し、内容を説明できる。 2. それぞれの生活の場における精神保健と病理について理解し、内容を説明できる。 3. 精神保健に関わる健康障害、精神保健活動と精神保健対策について理解し、内容を説明できる。 4. 精神保健のアセスメント方法と治療的アプローチについて理解し、内容を説明できる。 5. 精神保健及び福祉に関する法律について理解し、内容を説明できる。 <p>1. 2. 3. 4. 5. のいずれの項目も十分に達成できている。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			65%								
小テスト											
レポート			15%								
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他			20%								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21516J
										グ	

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
教科書該当箇所、配布した資料を確認しておく		4
授業計画		
第1回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（1） 災害被災者の精神保健 犯罪被害者等の支援 について解説する。	
第2回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（2） 自殺予防 身体疾患に伴う精神保健 について解説する。	
第3回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（3）（外部講師） 貧困問題と精神保健 社会的孤立 について解説する。	
第4回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（4） 性的マイノリティと精神保健 多文化異文化と精神保健 について解説する。	
第5回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（5） 反復違法行為と精神保健 高齢化と精神保健 について解説する。	
第6回	精神保健に関する発生予防と対策（1） 精神保健と予防概念 アルコール関連問題に対する対策 について解説する。	
第7回	精神保健に関する発生予防と対策（2）（外部講師） 薬物依存について ギャンブル依存対策 について解説する。	
第8回	精神保健に関する発生予防と対策（3） うつと自殺防止対策 子育て支援と暴力、虐待予防 について解説する。	

第9回	精神保健に関する発生予防と対策（4） 認知症高齢者遺体する対策 発達障害者に対する対策 について解説する。
第10回	精神保健に関する発生予防と対策（5） 社会的ひきこもりに対する対策 災害時の精神保健に対する対策 について解説する。
第11回	地域精神保健に関する偏見や差別 関連法規 人材育成 偏見差別の課題 について解説する。
第12回	精神保健に関する専門職種 専門職種と他職種連繋 当事者会や職能団体 について解説する。
第13回	精神保健に関する行政機関 国・都道府県・市町村の役割 その連携方法 について解説する。
第14回	諸外国の精神保健活動の現状 世界の精神保健について WHO などの国際機関 について解説する。
第15回	我が国における精神保健の課題 課題と対策、展望 について解説する。 総まとめ
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 最新精神保健福祉士養成講座2「現代の精神保健の課題と支援」中央法規出版 最新版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に適宜資料を提示する。必要に応じてパワーポイント資料を配布する。

課題に対するフィードバックの方法	授業貢献度・授業課題レポート、定期試験をもって総合評価する。総合評価の比率は上記に示している。 授業課題レポートに関しては、授業の中で指示する。
学生へのメッセージ・コメント	本講義は精神医学的な基礎理解を必要とする場合があるので、2年次後期開講の「精神医学と精神医療」の科目を受講しこの授業に臨む、もしくは在学中に受講をしていくことが望ましい。 講義では、理解を深めるためにグループワークなどを実施する場合がある。 講義に関連した参考になる書籍を図書館などで探して読むと、さらに理解が深まる。 精神保健及び福祉に関連のある社会問題に関心を持ち新聞、テレビ等のマスコミ報道から最新の情報を入手するよう努めてほしい。